

## 東海大学医学部泌尿器科学教室における 手術統計 (1978年3月～1981年12月)

東海大学医学部泌尿器科学教室 (主任: 大越正秋教授)

大越 正秋・河村 信夫・木下 英親  
松下 一男・岡田 敬司・勝岡 洋治  
村上 泰秀・青木 清一\*・長田 恵弘  
三浦 正彦・西沢 和亮・宮北 英司  
川島 敏文・白水 幹

STATISTICS ON OPERATIONS IN DEPARTMENT OF  
UROLOGY, SCHOOL OF MEDICINE, TOKAI UNIVERSITY  
(MARCH, 1978 TO DECEMBER, 1981)

Masaaki OHKOSHI, Nobuo KAWAMURA, Hidechika KINOSHITA,  
Kazuo MATSUSHITA, Keishi OKADA, Yoji KATSUOKA,  
Yasuhide MURAKAMI, Seiichi AOKI, Yoshihiro NAGATA,  
Masahiko MIURA, Kazuaki NISHIZAWA, Hideshi MIYAKITA,  
Toshibumi KAWASHIMA and Miki SHIRAMIZU  
*From the Department of Urology, School of Medicine, Tokai University*  
(Director: Prof. M. Ohkoshi)

A total of 1608 operations were performed at our Department between March, 1978 and December, 1981, including 18 operations on the adrenal gland, 328 operations on the kidney, 123 operations on the ureter, 166 operations on the urinary bladder, 235 operations on the prostate, 58 operations on the urethra, 268 operations on penis, 334 operations on the scrotum.

**Key words:** Statistics on operation, Urology, Tokai University

### 緒 言

東海大学病院開設後3年間, 1978年2月迄の手術統計を1979年1月の泌尿紀要誌に報告した. 今回これにつながるものとして, 1978年3月から1981年12月迄の3年10カ月間の手術統計を報告する.

当病院の存する伊勢原市は現在人口約7万人で, 神奈川県の中核部にある. 都心迄, 車で約1時間であり, 農村地帯から東京のベッドタウンに変化しつつある.

医局員は1975年3月の時点では6名であり, 現在は7名で, 特に当科所属の研修医6名が居るが, ローテ

ーションのため泌尿器科には1～2名ずつしか勤務していない.

### 対象と方法

厳密に言えば1978年2月25日から1981年12月31日までの統計である. 日付が途中からになっているのは前回の報告が1978年2月24日までであったためであるが, 2月25～28日には手術がおこなわれていないので, 3年10カ月の統計として見ていただきたい.

手術々式を中心にして統計をとってある. 他科が主としておこない, 泌尿器科が従として手伝ったような症例は, この統計に含まれていない.

\* 現日野市立病院

Table 1. 入院患者手術件数

副腎に対する手術	18	TuR 後開腹止血	4
片側副腎全摘	16	尿道に対する手術	58
クク生検	2	尿道脱根治術	1
腎に対する手術	328	内尿道切開術	14
腎癌根治術	10	尿道口切開	11
腎摘出術	28	経腹的尿道拡張	4
腎, 尿管全摘, 膀胱部分切除	11	尿道全摘	1
腎切石術	38	尿道形成術	18
腎部分切除術	2	カルンケル切除	1
馬蹄腎狭部切断術	1	ブジー (糸状ブジー)	8
腎盂切石術	48	陰茎に対する手術	11
腎嚢胞切除術	9	生殖器全摘術	1
腎固定術	2	陰茎腫瘍根治術 (切断)	3
腎血管再建術	2	陰茎腫瘍切除	2
腎盂尿管移行部形成術	9	陰茎形成 (索切除など)	5
腎瘻術	13	陰嚢内容に対する手術	204
腎盂瘻術	1	除辜術	59
開放性腎生検	165	片側	25
後腹膜腔の手術	15	両側	34
下大静脈人工血管置換	2	辜丸固定術	48
下大静脈切断再吻合	1	片側	41
後腹膜腫瘍摘除	3	両側	7
外腸骨動脈再吻合	1	精索静脈瘤根治術	14
後腹膜リンパ節二次的廓清	8	辜丸水腫根治術	32
試験開腹	6	片側	22
尿管に対する手術	123	両側	10
尿管切石術	81	辜丸整復固定術	2
尿管膀胱再吻合術	21	精索水腫根治術	6
両側	6	精液瘤根治術	4
片側	15	辜丸生検	7
尿管口切開術	2	副辜丸摘除術	13
尿管部分切除術	3	副辜丸生検または部分切除	4
尿管別離術	4	精管結紮術	6
尿管皮膚瘻術	8	精管再吻合術	3
腎盂回腸膀胱吻合	1	陰嚢内腫瘍切除	3
シュリンゲ	3	瘻孔閉鎖	1
膀胱に対する手術	166	陰嚢試験切開	2
膀胱全摘出術	21	その他の手術	41
回腸導管	19	副甲状腺腫摘出術	1
S状腸導管	2	バルトリン腺嚢腫切除	2
回腸導管のみ	2	肛門括約筋縫縮	1
膀胱部分切除術	6	そけいヘルニア根治術	12
膀胱憩室切除術	6	そけいリンパ節生検	9
膀胱吊り上げ術	6	大腿ヘルニア根治術	1
膀胱切石術	11	腫瘍切除	6
膀胱碎石術	6	膿瘍切開	2
膀胱瘻術	13	骨髓生検	4
経尿道的膀胱腫瘍切除術	69	皮膚移植	1
膀胱内凝血除去	3	虫垂切除	2
膀胱内ホルマリン注入	2	麻酔下の検査	
前立腺に対する手術	235	逆行性腎盂造影	9
前立腺癌根治術	4	尿管係蹄カテーテリスム	3
恥骨上被膜下前立腺摘出術	20	膀胱鏡 (パンエンドスコープを含む)	20
経尿道的前立腺切除術	195	膀胱造影	1
前立腺生検	12	精管造影	2

## 結果と考察

入院患者に1,205, 外来患者に403, 合計1,608件の手術が46カ月間におこなわれている

副腎に対する手術は18例におこなわれた。このうちクッシング症候群が2例、腫瘍の転移のための摘出が2例、ほかは原発性アルドステロン症である。

腎に対する手術の中では、開放性腎生検が最多であるが、この手技はその後内科の医師に指導し、現在では内科医のみでおこなわれているので、ここにあげた165例はほとんど初めの2年間におこなわれたものである。

当院では睾丸腫瘍の際の後腹膜腔リンパ節廓清は、組織診断がついてから二次的におこなっているため、これが8例になっている。下大静脈の人工血管置換は腎腫瘍の静脈浸潤例におこなわれ、下大静脈切断は下大静脈後尿管におこなわれた。

膀胱に対する手術のうち、膀胱吊り上げ術はすべてMarshall-Marcetti-Kranzの方法でおこなわれている。膀胱に対する手術と前立腺に対する手術ではTURが最多である。

当院には前立腺癌患者が比較的多く、そのため両側除睾例が多い。

麻酔下におこなわれた各種検査は主として小児に対し、全麻下におこなったものである。大人でもてんかんの既往歴のあるものなどでは全麻を用いた。

外来手術で即日帰宅させたのは403例で、うち121例は小児のヒモーゼの手術を全麻でおこなったものである。

先年、所沢の某婦人科病院で、不必要な手術がおこなわれたのではないかと騒がれる事件があったが、その後、いわゆる医事評論家が、手術を必要といわれたらほかの病院の診断も求めて、同じ結論が出るかをたしかめてからにするとキャンペーンをおこなったことがある。その影響が当院にもおよび、手術必要と判定してもほとんど入院を申し込まずに帰る例が一時多くなった。さらにこの意見を悪用して、何か所も病院をまわり、どこでも手術を要すといわれ、当院が6カ所目であるという膀胱腫瘍患者もあった。もちろん当院でも入院も手術もせず、またどこかへいったらしい。病院の存在地がかなり田舎であることも手伝って、依然として入院をすすめても逃亡する率は約50%である。

Table 2. 外来手術件数

睾丸水腫根治術	2
副睾丸生検	1
睾丸生検75両側精管結紮術	51
精管、精囊造影	1
カルンケル根治手術	13
外尿道口切開	1
環状切除術	192 (内全麻84)
背面切開術	51 (内全麻39)
陰莖生検	2
包皮癒着切離	1
嵌頓包皮整復	1
尖圭コンジローム切除術	9
外陰部腫瘍切除	3
計	403

## むすび

以上、東海大学病院における最近の3年10カ月の泌尿器科手術統計について報告した。

## 文 献

- 1) 大越正秋・ほか：東海大学泌尿器科学教室における手術統計（1975年2月～1978年2月）。泌尿紀要 25：77～79, 1979
- 2) 栗田 孝・ほか：近畿大学医学部泌尿器科学教室における3年間（1978年より1980年まで）の手術症例について。泌尿紀要 27：1445～1454, 1981
- 3) 村椿 勲・ほか：独協医科大学病院泌尿器科における5年間の臨床統計。西日泌尿 43：1271～1279, 1981

(1982年3月10日受付)